

## 第2節 総合的な環境保全行政の推進

### 1 奈良市環境基本条例

本市は、平成11年3月に「奈良市環境基本条例」を制定しました。この条例は、環境の保全と創造に関する基本理念を定め、市・事業者・市民・観光客等各主体の責務を明らかにするとともに、環境の保全と創造に関する施策の基本となる事項などを定めており、環境の保全と創造に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、現在及び将来の市民の安全かつ健康で文化的な生活の確保に寄与することを目的としています。

### 2 奈良市環境審議会

環境基本法第44条では、市町村は、その市町村の区域における環境の保全に関して、基本的な事項を調査審議させる等のため、その市町村の条例で定めることにより、環境保全に関し学識経験のある者を含む者で構成される審議会等を置くことができると定められています。

本市では、昭和46年8月から奈良市公害対策審議会、平成6年8月から奈良市環境審議会として本市の環境行政に関する基本的事項を審議しています。

### 3 奈良市環境基本計画（改訂版）

「奈良市環境基本計画」は、奈良市環境基本条例に基づき定めるもので、本市の総合計画を環境面から総合的、体系的に推進し、環境の保全と創造に関する各分野の施策、事業の基本となる計画です。最初の計画は、平成11年3月に策定しました。

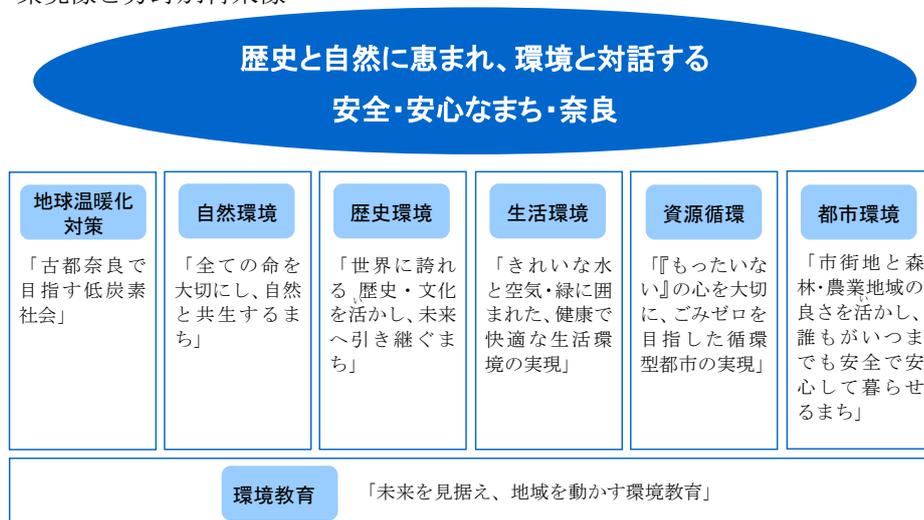
その後本市は、平成14年4月に中核市となり、平成17年4月には月ヶ瀬村・都祁村と合併して市域が拡大しました。さらに計画策定から10年余りが経過し、急速に進む地球温暖化や生物多様性の危機など複雑化・多様化する環境問題に対応するため、平成24年3月に「奈良市環境基本計画（改訂版）」を策定しました。見直しにあたっては、公募市民、事業者代表、各種団体の代表者等で構成される環境基本計画市民ワークショップで議論を重ねていただいた内容を計画に反映し、市民、事業者、市（行政）が協働して取組を推進していくための計画としています。

この計画では、「歴史と自然に恵まれ、環境と対話する安全・安心なまち・奈良」を望ましい環境像として次の7つの分野別将来像を掲げ、平成33年度までの10年間の計画期間として、それらの実現に向けた施策及び指標・目標値を示しています。

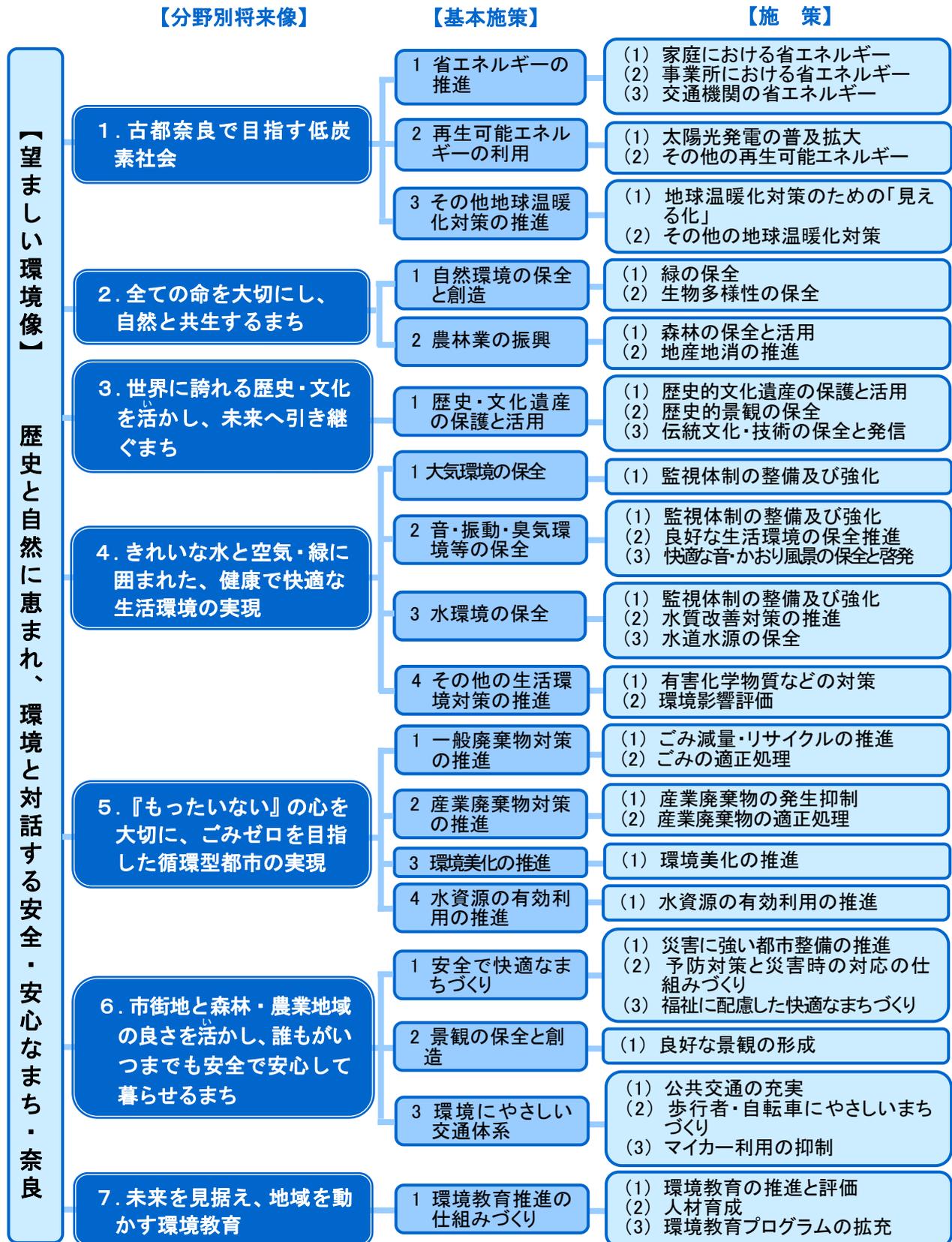
#### (1) 計画の期間

平成24年度（2012年度）から平成33年度（2021年度）までの10年間

#### (2) 望ましい環境像と分野別将来像



(3) 施策体系



(4) 計画の推進

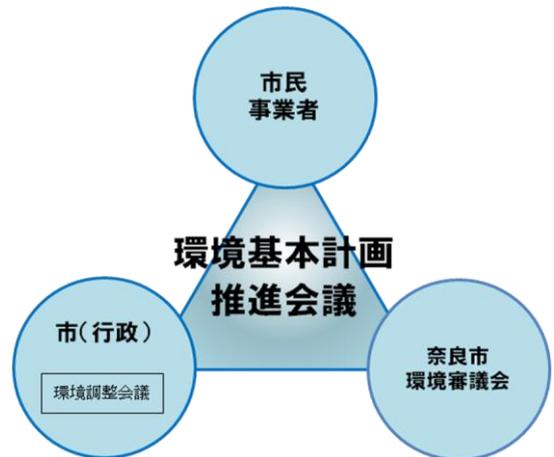
奈良市環境基本計画（改訂版）を総合的かつ計画的に推進していくために、指標を用いて施策の進捗状況を点検・評価し適切な見直しを図るとともに、市民、事業者、市（行政）が連携・協働する仕組みを形成し、推進体制を整備充実させ、計画の実効性を確保します。

・環境基本計画推進会議

環境基本計画の推進にあたっては、市民、事業者、環境審議会委員等で構成される環境基本計画推進会議を設置し、施策の進捗管理を行い、協働による計画の着実な推進を図ります。

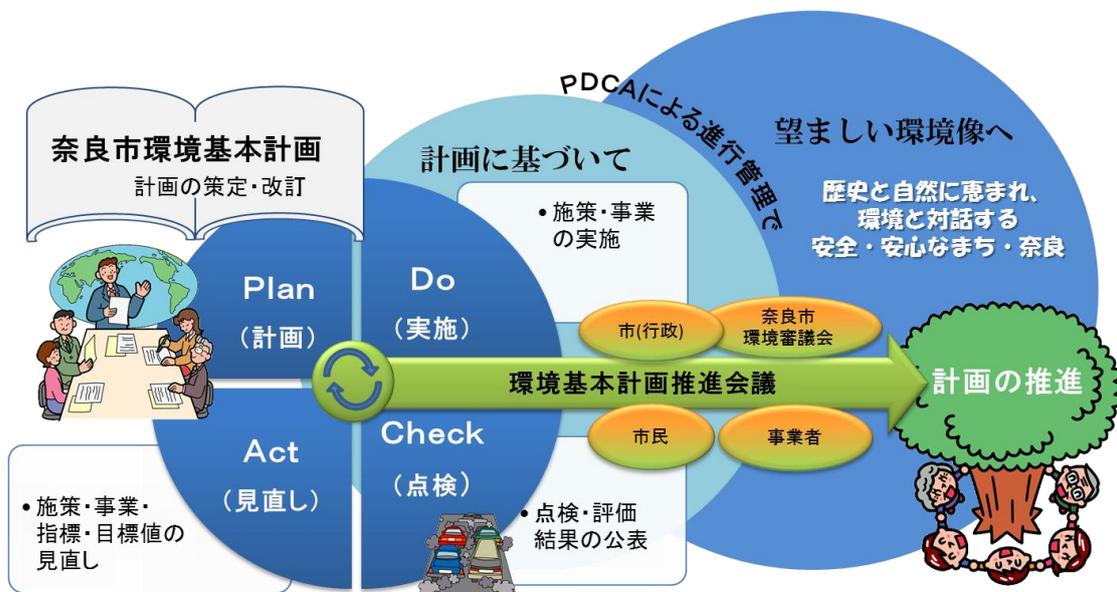
・環境調整会議

庁内の施策推進組織である環境調整会議で、庁内各担当部課の横断的な連携により環境施策の総合的な調整を図っています。



4 環境基本計画の進捗状況及びその評価

環境基本計画（改訂版）では、計画の着実な推進を図るため、PDCAサイクルによる進行管理を重要としています。そのため、分野別施策に対して参考となる指標を設けています。各指標の目標値に対する年度末現状値及び施策の進捗状況については、行政による達成度の点検・評価とともに、その自己評価結果に対する環境基本計画推進会議による第三者的評価を併せて、総合評価とする形をとっています。環境基本計画推進会議での評価結果については、各施策の実施部署にフィードバックし、必要に応じて施策、目標値等の見直し等を進めていきます。



## 5 分野別施策に対する指標と評価結果

### (1) 評価方法について

#### ・項目評価

指標ごとに、3つの評価項目（達成度、波及効果、効率性）について、それぞれ4段階で評価します。

#### <評価基準>

評価点 項目	4点	3点	2点	1点
達成度	目標を達成している。	目標をほぼ達成している。	目標を少し達成している。	目標は達成していない。
波及効果	環境改善に寄与し、かつ地域社会・市民・事業者などに好影響を与え、事業継続により、更なる発展が見込める。	環境改善や社会的な好影響がある程度認められ、事業継続により、今後の発展を見込める。	環境改善や社会的な好影響があまり認められないが、事業継続について改善の余地がある。	環境改善や社会的な好影響が認められず、事業継続による今後の発展が見込めない。
効率性	効率性が高い。	効率性は適当であると認められる。	改善の余地がある。	抜本的な見直しが必要である。

※効率性評価は、事業のやり方、進め方、成果に対して、コストが適切なものになっているか評価します。

#### ・総合評価

3つの評価項目それぞれについて4点満点で採点し、点数化された結果を基に、指標ごとの総合評価をまとめます。

総合評価	合計点数
A	11点以上
B	8点～10点
C	5点～7点
D	4点以下

(2) 評価結果

【省エネルギーの推進】

指標	平成21年度	平成22年度	平成23年度	目標値 (平成32年度)	担当	関連ページ
市域の温室効果ガス 排出量(千t-CO <sub>2</sub> )	1,295	1,347	1,558	1,042 ※推計方法の変更により、 基準年度の排出量が増えたため、 数値変更。 (策定時1,070)	環境政策課	17～20
1990年度比削減率(%)	6.8	3.1	-12.1	25		
達成度	波及効果	効率性	推進会議のコメント			
1	3	2	国の方針如何にかかわらず、当初掲げた削減施策に沿って着実に実行することが大事と考える。 さらに熱エネルギーの効率を上げることや、太陽熱利用も検討していただきたい。			
総合評価						
C						

※推計方法について

産業部門（農林水産業）、民生業務部門、廃棄物（廃棄物の焼却、排水処理）、農業（水田、耕地における肥料の使用）、代替フロン等3ガスについては、各部門の推計に用いている国の統計等が終了したなどの理由から、2010年度温室効果ガス排出量算定時に推計方法を変更しています。これに伴い、基準年度（1990年度）の温室効果ガス排出量は、計画策定時の1,427千t-CO<sub>2</sub>から1,390千t-CO<sub>2</sub>に変更しています。

指標	平成23年度	平成24年度	目標値 (平成27年度)	担当	関連ページ
奈良市の事務及び事業 における温室効果ガス 排出量(t-CO <sub>2</sub> )	48,370	集計中	48,819	環境政策課	21～23
達成度	波及効果	効率性	推進会議のコメント		
4	3	3	市の事業の中では、低コストでの取り組みが実施されていると思われる。 既に目標を達成しているため、目標値の再検討や、更なる削減方法を検討し、より積極的かつ効果的な取り組みの拡充が期待される。		
総合評価					
B					

指標	平成23年度	平成24年度	目標値 (平成28年度)	担当	関連ページ
LED街路灯の導入(灯)		84 (試験的導入)	4,000	道路維持課	25
達成度	波及効果	効率性	推進会議のコメント		
1	2	2	情勢を見ながら導入されることは理解できる。 国の助成金等を積極活用し導入化の促進を図り、交換後の適正管理を行うと共に、最適使用の徹底、啓発が必要である。		
総合評価					
C					

【再生可能エネルギーの利用】

指標	平成23年度	平成24年度	目標値 (平成27年度)	担当	関連ページ
家庭用太陽光発電の設置割合(%)	3.9 (2,751戸/市内持ち家一戸建て総数71,030戸)	5.3 (3,770戸/市内持ち家一戸建て総数71,030戸)	7.0	環境政策課	25
達成度	波及効果	効率性	推進会議のコメント		
2	3	2	創エネの促進は、省エネと共に最重要施策であり、太陽光発電は最も身近な手段であるが、補助金支援だけでなく、他の支援策も検討する余地がある。		
総合評価					
C					

【農林業の振興】

指標	平成23年度	平成24年度	目標値 (平成33年度)	担当	関連ページ
人工林における間伐の 施業面積(ha)	103.65	106.04	200	農林課	-
達成度	波及効果	効率性	推進会議のコメント		
1	3	3	林業振興のために、間伐材の利用方法(市場開拓等)や間伐従事者の人材確保、財源確保などに対する新たな施策が必要である。また、目標達成へのロードマップの策定等も必要である。		
総合評価					
C					

指標	平成23年度	平成24年度	目標値 (平成33年度)	担当	関連ページ
市民ふれあい交流事業 (ミニ直売所)(箇所)	4	4	10	農林課	34
達成度	波及効果	効率性	推進会議のコメント		
1	3	2	ミニ直売所の開設により、都市と農村との交流や地産地消に繋がっている。 今後、積極的にPRを行うとともに、農家の参加意欲を刺激する方策・仕組みを構築し、企業と連携するなど主催者側の幅の拡充の検討も必要である。		
総合評価					
C					

指標	平成23年度	平成24年度	目標値 (平成33年度)	担当	関連ページ
農業地域と市街地との 交流参加者数(人)	90	99	100	都祁行政 センター 地域振興課	34
達成度	波及効果	効率性	推進会議のコメント		
4	3	2	農業体験交流など成功事例を広くPRし、更に広めてほしい。 また、環境対策としての期待効果を示し、取り組み・予算配分の優先順位の透明性向上が期待される。 遊休農地の有効活用などの課題を解決するための具体的施策を検討する必要がある。		
総合評価					
B					

指標	平成23年度	平成24年度	目標値 (平成33年度)	担当	関連ページ
奈良県産学校給食食材 地産地消率(%)	33.96	34.62	40	保健給食課	34
達成度	波及効果	効率性	推進会議のコメント		
1	3	3	地産地消、食育教育、地球温暖化対策に繋がることから、地元産食材の需要・消費が高次元で推移・バランスするのであれば、目標値をさらに高くする必要がある。 食材確保や配送手段の解決などの課題を解決するための施策を明確にして進捗管理する必要がある。		
総合評価					
C					

【歴史・文化遺産の保護と活用】

指標	平成23年度	平成24年度	目標値 (平成33年度)	担当	関連ページ
補助の利用率 (都市景観形成地区建 造物保存整備費)(%)	32	28	100	景観課	36
達成度	波及効果	効率性	推進会議のコメント		
1	2	2	本事業に関する相談会・説明会や周知方法の工夫により、所有者(市民、企業など)の具体的な要望や修理・修景計画の把握が必要。町屋有料公開や、シニアボランティアの積極活用等の検討のほか、他地域の取り組みを調査しては。		
総合評価					
C					

指標	平成23年度	平成24年度	目標値 (平成33年度)	担当	関連ページ
なら工芸館入館者数 (人)	46,516	47,571	65,000	商工労政課	-
達成度	波及効果	効率性	推進会議のコメント		
1	2	2	種々のイベント等でのPRのほか、修学旅行生(班別行動対応)体験プログラムの企画や、伝統工芸の体験教室(学校等への出前も含め)といった、工芸館へ人を引き寄せる取り組み工夫(魅力)が必要。		
総合評価					
C					

指標	平成23年度	平成24年度	目標値 (平成33年度)	担当	関連ページ
奈良伝統工芸後継者育成研修修了者数(人)	5	8	14	商工労政課	-
達成度	波及効果	効率性	推進会議のコメント		
1	3	2	伝統工芸品の社会的価値を高めるために、学校教育との連携を持つなど周知のための施策を検討する必要がある。また、研修終了後の作家のサポートを是非具体化して欲しい。		
総合評価					
C					

### 【大気環境の保全】

指標	平成23年度	平成24年度	目標値 (平成33年度)	担当	関連ページ
光化学オキシダント環境基準の達成率(%)	96	96	環境基準の達成率向上を目指す	環境政策課	52～53
達成度	波及効果	効率性	推進会議のコメント		
4	3	3	奈良市の取り組みだけでは限界があるため、県・国等との連携を強めて対策を進めていく必要がある。また、市民の不安を除く取り組みとして現状が常に分かるような広報活動が必要である。		
総合評価					
B					

### 【音・振動・臭気環境等の保全】

指標	平成23年度	平成24年度	目標値 (平成33年度)	担当	関連ページ
騒音規制法・振動規制法に基づく特定施設の立入調査	騒音:2事業場5施設 振動:1事業場2施設 ((【総数】騒音:318事業場2,195施設、振動:180事業場1,069施設))	騒音:17事業場95施設 振動:8事業場17施設 ((【総数】騒音:317事業場2,114施設、振動:180事業場1,040施設))	4～5年単位で全特定施設を定期検査	環境政策課	69～72
達成度	波及効果	効率性	推進会議のコメント		
1	3	3	事前予防面からも立ち入り調査は重要で、地道な調査継続及び監視を続けて頂きたい。一方で、立入の他に、事業者の法律順守の意識付けが維持できる工夫を検討してほしい。		
総合評価					
C					

### 【水環境の保全】

指標	平成23年度	平成24年度	目標値 (平成33年度)	担当	関連ページ
市内河川のBOD環境基準達成率(%)	100	87.5	100	環境政策課	74～81
達成度	波及効果	効率性	推進会議のコメント		
4	4	3	前年に比べ低下したことを重く認め、維持継続にこだわった取り組みが必要である。清流は奈良のイメージでもあり、常に環境基準達成率100%を目指して、厳しく監視指導を続けて頂きたい。		
総合評価					
A					

【その他の生活環境対策の推進】

指標	平成23年度	平成24年度	目標値 (平成33年度)	担当	関連ページ
ダイオキシン類対策特別措置法に基づく特定施設の立入調査(%)	45 (11事業場のうち5事業場)	0 (11事業場のうち0事業場)	100	環境政策課	90～91
達成度	波及効果	効率性	推進会議のコメント		
1	3	2	平成24年度は事業者による測定結果の未報告がある・増えているのに、立入検査が未実施だったのが残念である。年度計画を立てて、着実に実施していくことで、今後の成果を期待する。		
総合評価					
C					

指標	平成22年度	平成24年度	目標値 (平成33年度)	担当	関連ページ
事業者によるダイオキシン類測定の実施率(%)	91 (11事業場のうち10事業場)	82 (11事業場のうち9事業場)	100	環境政策課	90～91
達成度	波及効果	効率性	推進会議のコメント		
4	3	3	年度計画を立てて、着実に測定の実施を指導していくことで、今後の成果を期待する。		
総合評価					
B					

【一般廃棄物対策の推進】

指標	平成23年度	平成24年度	目標値 (平成32年度)	担当	関連ページ
ごみ搬入量 (再生資源搬入量を除く。)(t)	104,005	102,724	91,000	企画総務課	26～30
家庭系ごみ搬入量(t)	61,040	59,867	53,700		
事業系ごみ搬入量(t)	42,965	42,857	37,300		
達成度	波及効果	効率性	推進会議のコメント		
1	3	2	さらなる減量化を期待するが、啓発指導強化及び何らかのインセンティブ策が必要である。他自治体のトップランナー事例等の継続的な調査研究・連携が期待される。また、ごみの種類に合わせた対策を決定する必要がある。		
総合評価					
C					

【産業廃棄物対策の推進】

指標	平成22年度	平成23年度	目標値 (平成33年度)	担当	関連ページ
産業廃棄物の最終処分率(%)	0.7	0.4	0.3	産業廃棄物対策課	99
達成度	波及効果	効率性	推進会議のコメント		
3	3	3	効果的・効率的な取り組みが実施されていると思われる。多量排出事業者への継続的な指導の強化を期待する。		
総合評価					
B					

指標	平成23年度	平成24年度	目標値 (平成33年度)	担当	関連ページ
不適正処理(不法投棄、 野外焼却等)件数のパト ロール総箇所数に対す る割合(%)	4	2	2	産業廃棄物 対策課	99
達成度	波及効果	効率性	推進会議のコメント		
4	4	3	今後も継続した取り組みと、更なる目標値の設定、監視・パトロール以外の施策の検討が望まれる。		
総合評価					
A					

### 【環境美化の推進】

指標	平成23年度	平成24年度	目標値 (平成33年度)	担当	関連ページ
不法投棄警告センサー 設置箇所数	18	19	28	まち美化 推進課	99
達成度	波及効果	効率性	推進会議のコメント		
1	3	4	センサーの設置とともに、啓発、パトロールを併せた両輪での取り組みが必要。継続推進に期待する。		
総合評価					
B					

指標	平成23年度	平成24年度	目標値 (平成33年度)	担当	関連ページ
アダプトプログラム活動 団体数(団体)	48	55	105	協働推進課	40
達成度	波及効果	効率性	推進会議のコメント		
1	4	3	アダプトプログラム制度の広報拡大、及び活動貢献への表彰や市ホームページ等での活動紹介・優良団体PRなどの積極実施も効果的である。 今後は課題の解決のほか、活動団体数・人数の増加、活動の質的向上に資するセミナーや意見交換会などが期待される。		
総合評価					
B					

### 【安全で快適なまちづくり】

指標	平成23年度	平成24年度	目標値 (平成33年度)	担当	関連ページ
下水処理施設の耐震化 率(%)	10	10	100	下水道 維持課	-
達成度	波及効果	効率性	推進会議のコメント		
1	3	2	環境問題だけでなく、市民の安全を守る観点からも重要であるが、下水道処理施設の統廃合、長寿命化計画との整合性を考慮し、効率的に進める必要がある。		
総合評価					
C					

指標	平成23年度	平成24年度	目標値 (平成33年度)	担当	関連ページ
耐震性貯水槽の設置数 (基)	41 ※計画策定時より数値変更 (策定時36)	42	54	消防局 消防課	-
達成度	波及効果	効率性	推進会議のコメント		
1	3	3	単年度設置目標数を明確にし、計画的に事業を継続推進することが望まれる。		
総合評価					
C					

指標	平成23年度	平成24年度	目標値 (平成27年度)	担当	関連ページ
自主防災防犯組織結成率(%)	98	98	100	危機管理課	-
達成度	波及効果	効率性	推進会議のコメント		
1	3	3	自治連合会を結成していない地域への対応など、組織結成率だけにとられない更なる工夫が必要と思われる。		
総合評価					
C					

### 【景観の保全と創造】

指標	平成23年度	平成24年度	目標値 (平成32年度)	担当	関連ページ
市民1人当たりの都市公園面積(m <sup>2</sup> /人)	6.2	6.3	6.7	公園緑地課	39
大規模公園を含む場合(m <sup>2</sup> /人)	23.3	23.4	21.2		
達成度	波及効果	効率性	推進会議のコメント		
1	3	2	少子高齢化が進む現状を踏まえ、面積だけに拘らず、目標値の再検討も含めた見直しが見られる。		
総合評価					
C					

指標	平成23年度	平成24年度	目標値 (平成27年度)	担当	関連ページ
グリーンサポート制度による公園管理率(%)	20	20	40	公園緑地課	39
達成度	波及効果	効率性	推進会議のコメント		
1	3	3	市民と行政との協働で効果的な取り組みが行われていると考えられるが、今後のことも考え、当制度への理解を広め、若年層をも取り込むべく、広報を拡大することが望まれる。		
総合評価					
C					

### 【環境にやさしい交通体系】

指標	平成23年度	平成24年度	目標値 (平成27年度)	担当	関連ページ
パークアンドライド駐車台数(台)	1,155	1,184	3,000	交通政策課	33
達成度	波及効果	効率性	推進会議のコメント		
1	3	3	重要な施策であるが、駐車台数を増やすべく、広報やサービスの拡大、実施期間や公共機関との連携の見直しなど、さらなる施策が望まれる。		
総合評価					
C					

指標	平成23年度	平成24年度	目標値 (平成27年度)	担当	関連ページ
パークアンドサイクルライドの利用者数(人)	1,414	1,637	2,800	交通政策課	33
達成度	波及効果	効率性	推進会議のコメント		
1	4	3	ソフト、ハードの両面から、安全、快適に自転車を利用できる環境を整備するという大きな課題はあるが、環境面でも多くのメリットがある重要施策であるので、さらなる普及のために、広報やサービスの拡大を期待する。		
総合評価					
B					

【環境教育推進の仕組みづくり】

指標			平成23年度	平成24年度	目標値 (平成33年度)	担当	関連ページ
幼稚園・小学校での環境出前講座開催数			18校園24講座 (幼稚園11園16講座、 小学校7校8講座)	15校園20講座 (幼稚園8園9講座、 小学校7校11講座)	85回 (幼稚園38、 小学校47)	環境政策課	42
達成度	波及効果	効率性	推進会議のコメント				
1	4	3	全ての小学校3年生を対象に省エネルギーや地球温暖化防止をテーマとした環境教育を実施する取り組み(平成25年度～)は、有意義だと思われる。一方で、目標を達成するには、講師の育成が必要である。				
総合評価							
B							